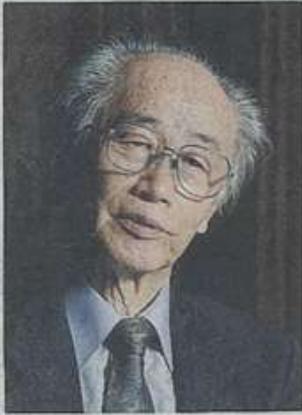


内橋克人氏の功績を顕彰

来月4日、神戸でシンポジウム 国谷裕子氏ら登壇

神戸新聞社は、神戸の生んだ経済評論家・ジャーナリストの内橋克人氏の功績を顕彰するシンポジウム「共生と平和のジャーナリスト・内橋克人の目指した地平」を神戸・三宮のアンカー神戸で開催します。

同氏は1932年、神戸市須磨区生まれ。神戸商科大（現兵庫県立大）卒。神戸新聞経済部記者を経て独立した。人と企業の営みをヒューマンなまなざしで見つめ、



内橋克人氏

共生経済の可能性を追求。食料、エネルギー、ケアが地域内で自給できる経済社会を指し示した。「匠（たくみ）の時代」「共生の大地」など著書多数。神戸新聞客員論説委員も務めた。2021年9月、89歳で死去した。

シンポではNHK番組「クロウズアップ現代」を担当し、親交のあったキャスター国谷裕子氏が基調講演。実弟内橋伸一氏のスピーチの後、東大名誉教授の神野直彦氏▽元NHKプロデューサー棚谷克巳氏▽元岩波書店編集者の高村



国谷裕子氏



神野直彦氏

幸治氏の3氏が内橋氏の人と思想について語り合う。司会は神戸新聞特別編集委員の加藤正文。

日時 10月4日（土）午後1時半

場所 アンカー神戸（神戸市中央区加納町4 神戸三宮阪急ビル15階）

申し込み 添付のQRコードから申し込む。9月24日締切。応募フォームは<https://form.kobe-np.co.jp/@uchihashi>

定員 100人（参加無料、応募多数の場合は抽せん）

主催 神戸新聞社

後援 兵庫県立大学、NHK神戸放送局

問い合わせ メディアビジネス局「内橋克人シンポジウム」係
078・362・7077（平日午前10～午後5時）

